

畜舎と畜舎の間の土地を利用した太陽光発電



発電施設の外観

<概要>

- 事業実施主体：株式会社 大野ファーム
(北海道河西郡芽室町^{かさいぐんめむろちょう})
- 発電設備：太陽光発電
発電出力 455kW
発電電力量 64万kWh/年
- 建設費：約2.3億円
- 運転開始時期：平成25年3月

<特徴>

- 事業費は、補助事業を活用し、残額は日本政策金融公庫から借入。
- 畜舎間の防疫上使用されていない土地を活用。
- 発電施設と農場の景観は併設するレストラン利用者や農場視察者の増加に効果。
- メンテナンスにかかる業者は地域内から選定。
- 売電収益は、6次産業化として実施している自社の食肉加工所、パン菓子工房・カフェの新設にともなう雇用確保や商品の試作等に活用。
- さらに、バイオマスの利用の検討のほか、生産管理システムや新商品の開発などで自社のブランド化を目指している。



農場レストラン



自社の農産物を使用したメニュー

※ 農山漁村再生可能エネルギー供給モデル早期確立事業（H24）において支援